

優れた、より良い福祉コミュニティをめざして

まほろば

ふれあいネットワーク

社協広報

【特集】 広がる在宅福祉サービス／

ホームヘルプサービス・デイサービスセンターふれあいの事業から

第13号



ことしの夏は、あめ日のカレーライスのように
熱く、そして美味しかった

ふれあい児童館の活動も、人形劇フェスティバルの開催・まほろば納涼祭でのオカリナ演奏・
森林体験学習会の実施・飯田人形劇カーニバルへの出演等々、この夏休み、大いに賑わった。

写真／わんぱく探検隊・森林体験学習会の活動風景から

特集

拡がる在宅福祉サービス

ふれあい通信等の事業の実施 ————— ホームヘルプサービス

本年4月より、独り暮らし等のお年寄りを対象に、ふれあい通信・訪問、料理教室の開催等が、ホームヘルパーの訪問活動の一環として、実施されることとなった。昨年から行っているポケットハイキングサービスと合わせ、ホームヘルプサービスのメニューの多様化がはかられている。

これは、昨年まで“愛の一声運動”として実施されていた独り暮らし老人等への訪問活動を充実発展させたものである。

季節のお便り・催し物等をお知らせする「ふれあい通信」、毎週1回乳酸飲料をお届けする「ふれあい訪問」、個別に誕生日をお祝いする「誕生日訪問」、美味しい会食の集いとなる「ふれあい料理教室」等々豊富な内容を、ホームヘルパーの訪問活動の中に組み込んで実施している。

力支援のもとに開催している。何れも利用者・参加者より大変好評を得ている。

地域の諸機関・企業等の福祉活動への積極的な参画を、今後共に期待したいところである。



▲郵便局員さんから届けられる「ふれあい通信」

更に「ふれあい通信」にあっては、山形郵便局に配布活動を担当していただいております、また料理教室は、山形村食生活改善推進協議会の協



▲手づくり料理を美味しく試食(ふれあい料理教室から)

サービスの時間延長対応

本年4月より、山形村社会福祉協議会では、ホームヘルプサービスの毎週土曜日の運営を開始し、サービスの時間延長対応等、将来へ向けに検討もすすめている。ホームヘルプサービスについて、質・量共に充実したものとし、在宅の高齢者の生活のより良いサポートができるよう、その体制を整えて行くこととしている。

◇もくじ／社協広報第13号◇

[特集] 拡がる在宅福祉サービス/ホームヘルプサービス・デイサービスセンターふれあいの事業から	2・3
[会長挨拶] 福祉の世紀へ/斉藤 清 (社会福祉法人山形村社会福祉協議会々長)	3
[歳時記まほろば] 諸研修・教室・行事・事業の開催から [ボランティアグループ紹介/2グループ]	4・5
[報告] 日赤社資収納運動の実施結果/平成8年度山形村社協一般会計決算他	6
[インフォメーション] 赤い羽根共同募金等の募集/山形村社会福祉協議会職員募集要項	7
[寄稿] 子どもは地域のたから/村瀬章夫 (山形村子ども会育成会々長)/[編集後記]	8

土曜デイサービスの実施————— デイサービスセンターふれあい

デイサービスセンターふれあいでは、昨年度末より試行的に行ってきた土曜デイサービスを、本年4月から毎週実施することとし、職員を配置すると共に、必要に応じ早朝から夕刻までサービスが利用できるよう、時間延長によるサービスも開始している。

昨年度末より、ホリデイサービス（土・日曜日に行うデイサービス）の先進地視察を行う等、その対応を検討してきた山形村社会福祉協議会では、本年4月より、毎週土曜日のデイサービス運営を開始した。

現在のところ、送迎サービス等一部のサービスを除く養護中心の対応とはなっているが、利用の幅が広がったことで、要援護者及びその家庭で介護をされている方々からは、大変喜ばれている。

山形村社会福祉協議会では、更に平成10年度以降のデイサービス運営をめぐる、時間延長サービスの本格実施、E型デイサービスの併設・導入に向けての検討をすすめており、職員体制

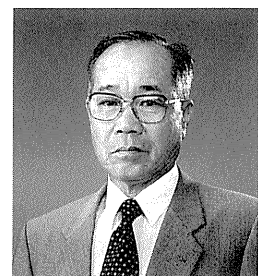
の整備をはじめ、デイサービス運営全般にわたっての見直しに着手している。



▲プランターの花の手入れ(土曜デイサービスから)

福祉の世紀へ

社会福祉法人 山形村社会福祉協議会
会長 齊藤 清



今年の3月24日から、本庄さんの後任として会長に就任致しました。宜しく願い致します。

さて、今年の8月15日、村では恒例の成人式が行われました。新成人凡そ70人程の出席でしたが、式典後にこれも恒例の様であります。全員が30秒スピーチとして、村の有線テレビのインタビューに答えてくれました。その中で今自分が関わっていること、或いはこれからやりたい仕事の中で、「福祉事業」への関心が思いのほか高かったことが注目されました。

高齢化時代の到来が日常の話題となっているこの頃でありますし、村の「ふれあいの館」を中心とする各種のサービス事業は、多くのボランティアの方々にも支えられて、年々充実拡大してはきましたが、大きくなればなるほど、また平成12年にはスタートが予定されている「介護保険制度」への対応なども含めて、この分野での専門職員の確保と育成が、新たな課題となりつつあります。

そんな矢先に先日の成人式でのスピーチを聞かせて戴いた訳であります。21世紀は福祉の世紀だと言われておりますが、これを支える多くの若い芽が育ちつつあることを感じさせてくれた一時でもありました。

歳時記／まほろば

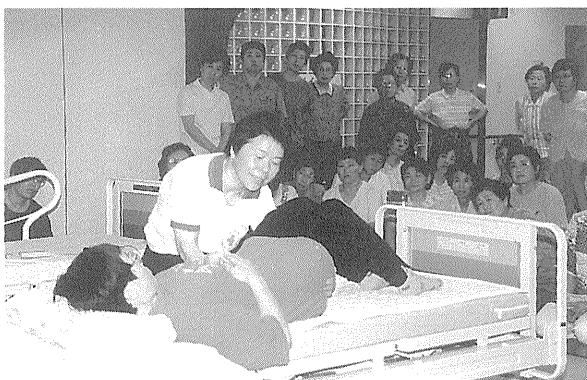
諸研修・教室の開催 から



▲ふれあい児童館・ちびっこ陶芸教室の開催/於ミラ・フード館 7/13



▲いきいきサロン活動視察研修会の開催/於上水内郡三水村 7/31



▲ボランティア研修を兼ねた市民介護基礎研修会の開催/於ふれあいの館 7/25



▲にこにこ赤十字健康教室の開催/於トレーニングセンター 9/5

ボランティアグループ紹介

日の出会

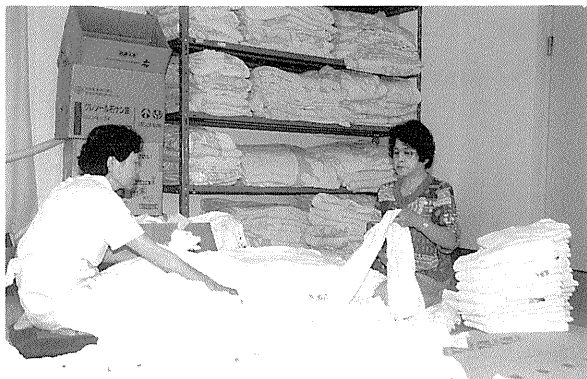
◇本庄 日出子◇

☆結成年度 平成元年 ☆会員数 11名
 ☆主な活動 デイサービス支援・おむつたたみ 他

真白く洗い上げたおむつの山、次から次とおむつの山を片付ける。外では音楽を聞きながら、流しそうめんを食べているおじいちゃん、おばあちゃん、何と平和な風景であろうか。私たち「日の出会」は、以前、婦人会の理事をした11人の仲間で構成されたボランティアグループです。毎月例会を開きボランティア計画を練り上げます。

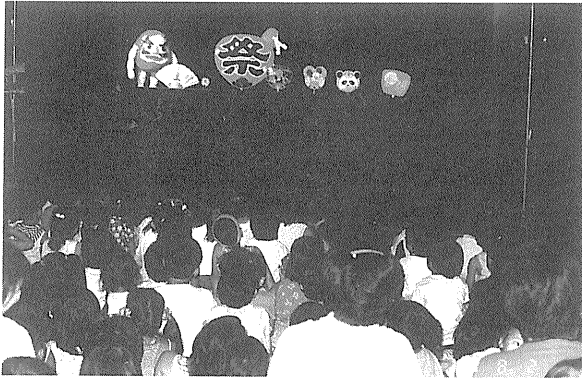
「ピアやまがた」のおむつたたみは、毎月第一週の水曜日。第四週はデイサービス。バス遠足に参加したり、ショッピングで一对一の車椅子の介助をしての買い物です。子どものように喜ぶ顔、生き生きした目を見たとき、私たちが喜びを感じ楽しくなります。

ボランティア活動を通じて自分の生きがいを見つけ、自分も楽しみ相手の方も楽しいと思うボランティア精神をもって、これからも邁進していくつもりです。



▲「ピアやまがた」での「おむつたたみ」

諸行事・事業の開催 から



▲人形劇フェスティバル・サマーステージの開催/人形劇団赤とんぼ 8/2



▲まほろば納涼祭の開催/今年は児童館・リトルサウンドも参加した 8/5



▲木崎湖方面バスハイキング/デイサービスふれあい 8/26・28 9/2



▲飯田人形劇カーニバルへの参加/人形劇団遊ゆう工房のデビュー 8/9

民謡クラブ「灯」

◇旗町 怜子◇

☆結成年度 昭和49年 ☆会員数 21名
 ☆主な活動 児童福祉・老人福祉施設友愛訪問

「そこはもっとゆっくり、感情をこめて。」ご指導いただいている尾崎美千代先生の若々しい声かとびかいます。今日は語りの日です。皆真剣に紙芝居『野麦峠をこえて』に取り組んでいます。

民謡クラブ「灯」は、発足以来23年間のともしびの火を消さないように頑張ってきました。

その間、『与一と米のまんま』『佛窟とさわら清水』『中村太八郎』等44話の紙芝居を作りました。

民謡クラブの活動は、月1回の定例会の他、語りの勉強会。松本養護学校、小学校、保育園との交流会。おむつたたみ、ふれあいの館、ピアやまがた等でのボランティア活動です。

健康で生涯現役として勉強を続けながら地域のボランティア活動に参加していきたい。

——これがクラブ員の願いであり夢です。

☆いっしょに活動をしたい方は、是非お声をかけて下さい。新規会員の募集をしています。



▲「デイサービスセンターふれあい」での紙芝居上演風景

—— あたたかな善意、ありがとうございました。 ——

◇平成 9 年度日赤社資収納運動の実施結果◇

平成 9 年度の日赤山形村分区社資収納運動を、去る 5 月 1 日から 31 日までの間実施したところ、次のような実績となった。(収納された社資は、日本赤十字社長野県支部へ全額送金。)

【単位：円】

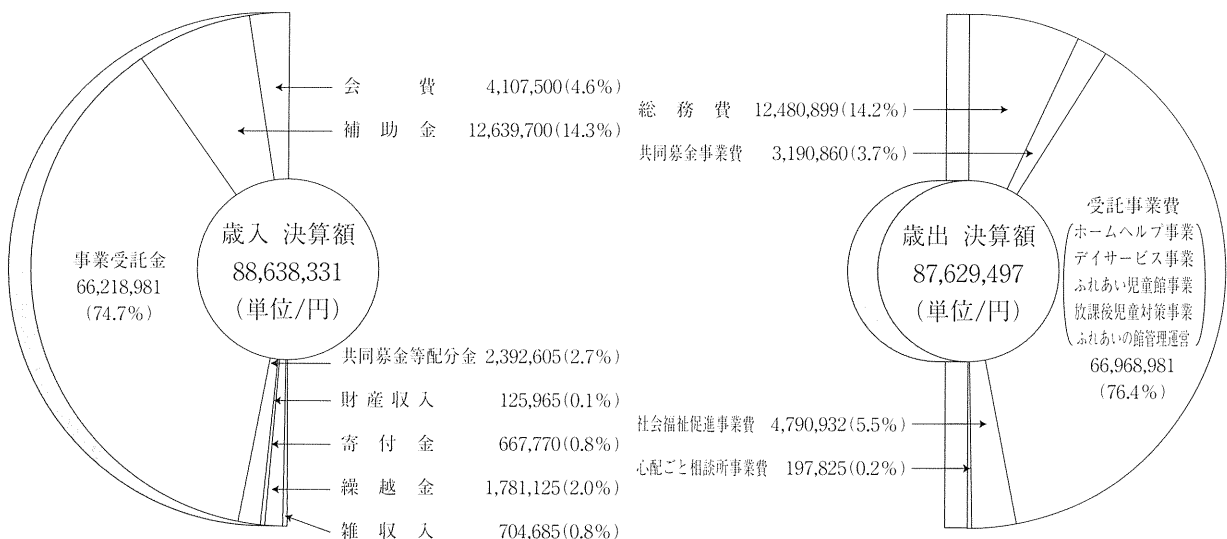
	上大池	中大池	小 坂	下大池	上竹田	下竹田	合 計
社 費	109,500	138,000	240,000	111,000	274,000	305,200	1,177,700
寄 附 金	55,500	11,800	52,900	15,000	52,900	70,100	258,200
社資総額	165,000	149,800	292,900	126,000	326,900	375,300	1,435,900

◇社協基金等への寄附金の紹介◇【平成 9 年 1 月以降／敬称略】

上 條 美知子 (中大池)	金100,000円	堤 利 雄 (上大池)	金200,000円
山形村ボランティア連絡協議会	金 10,000円	株式会社バイタル	金200,000円
西 牧 教 室	金 20,000円		
百瀬時雄歌誌出版記念祝賀会実行委員会	金 50,000円		

平成 8 年度一般会計決算の報告

去る 7 月 8 日、平成 9 年第 2 回山形村社会福祉協議会評議員会において、平成 8 年度社協事業報告並びに一般会計決算が承認された。一般会計決算の概要は次のとおりである。



▲山形村社協／平成 8 年度一般会計決算の概要

◇インフォメーション／共同募金会山形村分会から◇

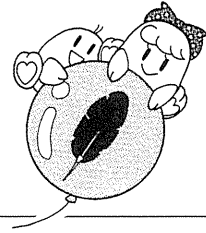
— 赤い羽根共同募金／歳末たすけあい共同募金の募集について —

■長野県共同募金会山形村分会では、全国一斉の共同募金運動期間中に共同募金の募集を実施致しますので、ご協力の程お願い申し上げます。

○募集期間 平成9年10月1日から31日までの間

○募集方法 各連絡班ごとに募集依頼／その他職域募集

※問い合わせ先／山形村社会福祉協議会(電話)98-3081



◇インフォメーション／山形村社会福祉協議会から◇

社会福祉法人山形村社会福祉協議会職員募集要項

1. 採用予定職種及び人員

生活指導員（正規職員）1名

看護婦（正規職員）1名

介護員（嘱託職員）若干名

調理員（嘱託職員）1名

2. 受験資格（採用日現在）

生活指導員（正規職員）

- (1)通勤可能な者
- (2)年齢満30歳頃までの者（男子）
- (3)社会福祉士等の資格を有する者
- (4)健康で福祉事業に熱意のある者

介護員（嘱託職員）

- (1)通勤可能な者
- (2)年齢満20歳以上45歳頃までの者
- (3)健康で福祉事業に熱意のある者

看護婦（正規職員）

- (1)通勤可能な者
- (2)年齢満25歳以上35歳頃までの者
- (3)看護婦資格を有する者
- (4)健康で福祉事業に熱意のある者

調理員（嘱託職員）

- (1)通勤可能な者
- (2)年齢満20歳以上45歳頃までの者
- (3)健康で福祉事業に熱意のある者

3. 採用条件

○採用予定年月日 平成10年4月1日（但し嘱託職員は、採用日から平成11年3月31日までの間）

○服務等は、山形村社会福祉協議会の規定による。

4. 受験手続き

(1) 申込用紙の請求先及び受験申込先 山形村社会福祉協議会（ふれあいの館内）

(2) 申込書類 ○受験申込書 ○履歴書 ○最終学校卒業証明書
○資格証明書（正規職員を希望する場合）○健康診断書

(3) 申込受付期間 平成9年9月8日より10月8日までの間

5. 試験の日時及び場所

平成9年10月19日 午後1時～4時

山形村役場／2階会議室

6. 試験方法

◇正規職員採用試験 (1)筆記試験／一般常識試験・作文 (2)口述試験
◇嘱託職員採用試験 (1)筆記試験／作文 (2)口述試験

7. 選考（採用）結果通知

平成9年10月27日（書面をもって通知する。）

8. 申込み・問い合わせ先

山形村社会福祉協議会

東筑摩郡山形村3940-1(電話)0263-98-3081

山形村子ども会育成会々長 村瀬 章夫



このところ、ショッキングな少年の犯罪がテレビをにぎわしています。まさかと思わせるようなその犯罪に耳を疑うほどです。

「最近では犯罪ばかりでなく、非行も低年齢化している。」という声をよく耳にします。かつては「親はなくても子は育つ」というように、子どもの数が多く、上の子が下の子の面倒を見、地域の人たちも自分の子どものように褒め、叱っていました。しかし、最近では核家族化が進んでいることに加え、子どもの数が少なくなり、家に閉じこもっている子どもが多くなりました。地域の人たちも忙しさからか、子どもに声を掛ける大人が少なくなっています。

「ほかの子との付き合い方が判らない」「面倒くさい」などという大人子どもが増えているのは、こうした家庭、地域環境が大きく影響しているといえます。かつては、都会の話とか、週刊誌がかきたてているだけと思えた少女売春、中高生や一般家庭の主婦にまで広がってきた麻薬渦などは、その顕著な例といえます。

山形村子ども会育成会では、幸いこの種の魔の手が伸びていない山形村の子どもたちに、子どもらしく、伸び伸びと育ててほしいと活動を続けています。とくに、昨年度から名称をこれまでの「青少年育成会」から「子ども会育成会」と改称しました。地域の幼児から中高生までがまとまり、自主的に運営する楽しい子ども会が少しでも早く、一つでも多く誕生する手助けをしたい。それが、他人の傷みを知り、自ら進んで行動出来るたくましい人間づくりになると考えたからです。

昨年度からは、その第一歩としてリーダー研修も始めました。大人がリードして子ども会を作ることは簡単ですが、子どもの手による子ども会づくりの道のりは遠いことかも知れません。しかし、村民の皆さんの後押しがいただければ、そう遠いことではないと確信しています。

古いコマーシャルで「わんぱくでもいい、たくましく育ててほしい」というのがあったのを覚えている人もいることと思いますが、私はこの言葉が大好きでした。子どもたちの元気な声がかきこえる地域には活気がみなぎっています。地域の人たちの「おはよう」「おかえり」の一言が、子どもたちに、地域に暮らす意識を植えつけ、親密感を育てて行くと思います。逆に、地域のお年寄りにも、連帯感が沸いてきはしないでしょうか。

一方で、子どもたちには広い視野を持たせることも必要で、子ども会育成会では、村教育委員会とタイアップし、埼玉県加須市の子どもとの交流会を4年前から実施しています。村からは毎年4～50人の小中学生が参加、年三回交流会を開いています。初めての交流ではよそゆきだった子どもたちも、一年間の交流会が終わるころには見違えるように大きくなります。

このような活動を続けているとはいえ、私たち子ども会育成会ができることは知れていますが、村民の皆さんの協力があれば必ず実を結ぶと思います。どうぞこれからも変わらぬご支援、ご協力をお願いします。

◇ 編集後記 ◇

■ことしの夏は、暑かった。そういえば、カブト虫もいっぱいとれたようだったが——小屋の中にポツンと置かれた空っぽの飼育箱に、かつての賑わいがよみがえってくる。森林体験学習会の活動風景(表紙写真)からは、いまにもあの蟬のなき声がかきこえてきそうだ。■もう秋なのに、心の中には未整理のまま、いっばいの夏が残っている。 編集人/社協-K.

まほろば

(社協広報/第13号) 平成9年9月30日発行

●発行所

社会福祉法人 山形村社会福祉協議会 (ふれあいの館内)

〒390-13

長野県東筑摩郡山形村3940番地の1 ☎0263 (98) 3081 FAX0263 (98) 3016

●印刷所

日本ハイコム株式会社